

奈良

いのちの電話

2022 新年 第387号

特集 精神障がい者の「意志」と「希望」
を実現するために
～地域で 暮らす・集う・働く～

中舎 有子氏

社会福祉法人 奈良いのちの電話協会

事務局／〒631-0816 奈良市西大寺本町8-27



TEL : 0742-35-0500

FAX : 0742-35-0533

e-mail : nid@nara-inochi.jp

「大和出雲人形・三番ぞう」
窯元八代目 水野佳珠・作



あらたまの 年の暮水 くむ今朝は
そぞろにももの 嬉しかりけり
樋口一葉

風 鐸



令和になって早4年めのお正月となった。この2年ほどコロナ禍でそれぞれが大変な毎日を送ってこられたことと

思う。コロナにより苦しくて相談をされる方の件数も増え、相談員の皆も感染症対策をしながらの任務で、互いに苦しい経験であったことと思う。そして昨年末、また一人、奈良いのちの電話を初期から支えてくださった方が亡くなられた。

年末にせめてものご供養にと當麻寺で写経をさせていただいた。浄土経といって、中将姫が書かれたとされる写経をなぞって

写経するのだ。

中将姫は5歳の時に母を亡くし、継母にいじめ抜かれて命まで狙われるようになったが、継母を恨むこともなく14歳の時に雲雀山に逃れ、隠遁生活に。読経の日々を送り、やがて隠遁生活から抜けて千巻の浄土経をお写経した後、観音様を求めて當麻寺にたどり着いた。女人禁制だったが許されて入寺した中将姫は、蓮の茎で仏様を織り上げ、それが當麻曼荼羅となったのだ。

中将姫の文字をなぞると中将姫とその方が重なった。明るくて心の優しい方で、さりげなく助けてくださる方。辛くても決してそれを表に出されない方。どんなことにも立ち向かい、自分の思いを貫かれています。

ちの電話に力を尽くされた方だった。

こんなご時世の中、自分が心身ともに元気でいさせていたでいるのは、そうした先人の方の生き様を学ばせていただいて、今の自分があるのだと、思わずにいられない。

お正月は明るい方がいい。その方もきっと皆が笑って暮らしていることを望まれているだろう。その方のように、いつも明るくしていよう。空元気でも笑っていよう。いつも周りの幸せを思い、喜べる人になろう。決して偉ぶることなく、でも信念は貫ける人になろう。難しくても努力はしていこう。年明けにそう心に誓う。(佳)

寄り添い人を訪ねて IX



精神障がい者の「意志」と「希望」を実現するために



～地域で 暮らす・集う・働く～

中舎 有子 氏



プロフィール

なかしゃ 有子 氏

<略歴>

日本福祉大学卒業後、1973年から1998年まで医療法人北林厚生会五条山病院に勤務。1991年、家族会役員、奈良保健所、吉田病院、国立松籟荘などの医療関係者と「精神障害者の生活を支援する会」の結成や無認可作業所「サロンさわやぎ」の設立、運営に関わり、県内の精神障害の作業所づくり運動に参加した。1998年、「さわやぎ共同作業所」に入職。2001年「社会福祉法人寧楽ゆいの会」を立ち上げ、2002年4作業所を小規模通所授産施設に改組。2007年から2020年6月まで法人代表理事を務める。

いのちの電話では多くの精神に障がいのある人からの相談が寄せられるが、その方たちが、地域でどのような支援を受けながら生活されているのかまでは十分把握できていないところも多い。そこで今回は、地域で安心して暮らすことができるよう様々な活動を行っている社会福祉法人 寧楽ゆいの会の中舎有子氏に、福祉サービスの現状や利用されている方の状況についてお話をうかがった。

○どのような経過で精神に障がいのある方とかわかることになったのですか？

昭和48年に精神病院に医療相談員として就職し、相談室で暮らしの相談を受けたり、孤立している人が多いので仲間づくりの為にハイキングの企画や新聞の発行などしていました。デイケアに来たくないという方もおられ、地域で集まる場所があったらいいなと思っていました。その思いを実現するために保健所の相談員、家族会、病院のワーカーと一緒にになって関係者に働きかけ「ひとりぼっちをなくそう！」を合言葉に「サロンさわやぎ」が平成3年に開所し、保健所や病院以外の居場所ができました。そこに集まって来られた方たちの病状が入院している患者さんよりも重度で、それでも地域で暮らしていることに驚きました。

○ゆいの会で大切にしていることはどのようなことですか？

大切にしているのは、利用者さんの声です。「ここに来ることでお金になることをしたい」という声があり、甲子園で阪神タイガースの応援に使うジェット風船の袋詰めの内職をスタッフがつけてきて山のような風船をみんなで袋詰めをしたことも懐かしい思い出です。平成5年に補助金が適用

され、「サロンさわやぎ」から「さわやぎ共同作業所」となり、運営主体が家族会になりました。ここでも作業を中心にしていましたが、作業はしたくない、スタッフと話がしたいという人たちの居場所や、お客さんに自分たちの活動を見てもらえる場所として「喫茶たく」を開所しました。また、ひとり暮らしの障害のある人たちが夕食をとものにできたり、朝から働けない人が夜に働ける場所になればと思い「食房喜楽」を開所するなど利用者さんの声を一つ一つ実現するために事業所を作ってきました。

平成13年「地域で当たり前に暮らすために必要なサービスを創る」という方針のもと「社会福祉法人寧楽ゆいの会」を設立しました。平成18年からゆいの会では雇用契約を結んで就労の機会を提供する就労継続支援A型は実施せず、「人とのつながり」「相談できる場」「安心できる居場所」を大切にして、自分のペースで継続的に働ける場や仲間と交流し、体調を整えながら次のステップに向かって踏み出すきっかけとなる場として就労継続支援B型を実施しています。

○様々な事業を行うために、何か問題はありますか？

例えば、お弁当作りには色々分担してする作業がありますが、精神の人は病状が不安定なこともあって、その作業に入れないときなどその部分はスタッフが行うので、いつもスタッフが足りない状況があります。

○コロナ禍の中で利用者さんの様子はいかがですか？

感染の不安から電車やバスに乗れない、家族から反対されて通所できない、外出すると周囲からどう見られるか不安、自宅でのケア会議に来てほしくないという声や、通所回数を減らしたり、事業所の滞在時間を短くする利用者さんも増えました。また、自宅でテレビを見る時間が増えニュースで気が滅入るという電話相談や、ワクチン接種に不安があったり、家族に接種を反対されて悩んでいる利用者さんもいました。

ゆいの会では、「新型コロナ対策会議」の中で、感染防止対策や、発生時の対応マニュアルの見直しなど継続して行っています。また、職員は、在宅支援として電話で一日の過ごし方の相談や体調の確認を行って電話でつながっているという安心感をもってもらおうと心がけています。

○今後の課題はどのようなことですか？

「65歳の壁」問題です。65歳になると介護保険に同じようなサービスがある場合それまで受けていた障害者福祉サービスが受けられなくなったり、介護保険では1割自己負担が発生するため急に自己負担が増えたりするなど支援の内容にも経済的にも大きな問題になっています。高齢の利用者さんが増えている中で、介護保険に移行できない人はサービスからはずれてしまうという制度の狭間になってしまうところをどれだけカバーできるか、どんなふうにカバーできるのかという方策を検討しているところです。若い人たちの課題も受けていかなければならないし、働きたいという方たちもたくさんいてニーズも変化しています。複合した精神の障がいをもっておられる方が何を求めているのか。奈良県全体の状況として精神保健福祉手帳の所持者や、通院を継続する人が増えている中、ゆいの会では通所する利用者が減っています。利用者のニーズを拾えてないからだと思います。地域には、困っていても自分の意思が表明できない人や、このサービスを受けたいと言えないレベルの人がたくさんいるのではと想像できます。支援者がいない、聴いてもらえる人がいないという現状があり、そこをフォローするとすれば本当に色々なニーズに応えていかなくてはならないと考えています。

こういう厳しい状況で、いのちの電話は、訓練された相談員が聴いてくださることで救われている方が大勢いることと思います。ゆいの会の利用者さんもお世話になっているようで感謝しています。

(A・M)

寧楽ゆいの会の活動

- 生活支援事業（地域で自分らしく安心して暮らすお手伝いをします）
 - 地域活動支援センター（仲間と集いくつろげる憩いの場です）
 - 相談支援事業所（制度の情報提供や利用の調整など一緒に考えます）
- 訪問看護・居宅介護事業
 - 訪問看護（精神科訪問看護として健康面や精神面のアドバイス、生活全般の困りごとの支援など行います）
 - 居宅介護（精神保健に関する研修を受けたホームヘルパーが定期的に訪問して様々なお手伝いや、生活のことを一緒に考えます）
- 生活介護事業（地域の中で居場所や、仲間作り、社会参加の支援をします）
- 就労支援事業（事業所が提供する仕事を柱として生活の充実を目指した支援を行います）
 - 就労継続支援B型（自分のペースで継続的に働けるように支援し、一般就労への機会や情報を提供します）
 - ・きらく舎 接客、清掃、弁当づくり、配達、
 - ・ぼすと 菓子作業、軽作業、交流の場
 - ・こもれば 配食サービス、請負作業
- 精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業（雇用の架け橋・相談）

多様性の時代に

つなぐ ⑦

～ 社会の変化につれて ～

小山株式会社 代表取締役会長 小山 新造

私は1942年生まれで今年80歳になります。

学校受験や就職活動には必ず履歴書が必要で、家族構成や趣味、そして保証人まで求められた時代でした。内定すると自宅まで人事の人が来て近所の人にも色々聞き合わせもしたものです。当時はそれが普通であり、何ら問題も起きずむしろ何人兄弟であるとか、家族がどこへ勤めているとか、誰と親戚かという事が良く分かり親しくなりやすいと思われてきました。どんな組織に於いても、名簿が作られ勤務先やら個人住所、生年月日や年齢、電話番号まで入ったものが多数ありました。それでも大きな問題は起こりませんでした。

しかし、近年差別的な事件が多発し、いつの間にか個人情報保護法ができ、昔の様な細かな情報が入らなくなり、つながりが分かっていくなっているのが現状であります。分かっていたら、もっと早く親しくなっていたのという事も多数経験してきました。ごくわずかな人達が情報を悪用する事で、多くの人が不便を強いられるのも残念な事です。

私たちの社会は、「人と人のつながりで生きている」といっても過言ではないと思います。相手の事をよく知り、信じているから繋がれているのだと思います。色んな事を相談し合ったり、愚痴を聞き合ったり出来るのも深いつながりがあるからだだと思います。そしてそんな人ほど、元気で長生きの方が多いのです。少子化、人口減少の時代に悩みをたくさん持たないで何でも話せる人をたくさん持っている人が長生きされているのです。

新型コロナウイルス感染症が発生してから、職場でも業界の会議でもZoomでする機会が増え、対面する事が減ってきています。何か熱い思いが伝わりにくく感じています。年賀状や暑中見舞いも年々辞退する人が増え、寂しい気がしています。死者との別れの儀式も家族葬になり、社会の形が解体されてきた様に感じています。

ここ50年で女性は13年、男性は12年寿命が延びたと言われています。それが人生100年時代に入った証であります。その事もあってか、つながりを求め、配偶者を求めて「婚活アプリ」が盛んになっている様です。どんどんつながる機会が減少している社会を見た時、ギリギリになり、自分が苦しくなってきたらつながりを求めるのではなく、早くから自然につながっている世界を自分でも作り出す事が必要だと思います。昔は自分の住む町内の人達は、自分の家族と同様に他の家の事もよく知っていて、人の家の間取りまで頭に入って居り、何かにつけ助け合っていたと思います。今は隣の家の事ですら何も知らないし、交流もない家が多いと思います。

これからの人口減少を考えた時、昔に戻れとは言いませんが、良かった事を思い出しながら、柔軟に対応していく事が必要ではないかと思います。

(協会 評議員)



奈良すこやかテレフォン研修会 2021年10月3日

「子どもを取り巻く問題を学ぶ」

奈良市教育委員会事務局教育部いじめ防止生徒指導課課長・久保田 浩司先生をお迎えして、「いじめ」と「児童虐待」について学びました。

「いじめ防止対策推進法」が平成25年9月施行され、いじめの定義として「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と定められました。

いじめ認知件数を遡っていくと、いじめが大変増えている時があります。いじめが増えたというより、今まで見過ごされていた軽微なものもいじめとして積極的に認知されるようになって、増加してきたと思われます。

奈良市では、令和2年3月から5月までコロナ禍での休校となりました。いじめの認知件数は前年に比べ大きく減少しましたが、認知件数なので発生件数ではないのです。大人が把握しにくい状況で、いじめが行われることがあります。パソコンやスマートフォンで誹謗中傷されることが増えてきて、危惧しています。一つひとつをみると深刻とは思えないいじめの積み重ねで死を選ぶ子どもがいることを、直視しなければならないのです。そのために、広範な定義に対して全件組織的に対応するという法律の仕組みになったのです。

いじめの構造は、被害者に対する加害者がいて、それを是認するように見る観衆がいます。そして、見て見ぬふりをする傍観者は暗黙の支持をしていることになります。傍観者の中から抑止作用を持つ仲裁者が現れることもあります。どう仲裁者を育てるのが大きなポイントです。いじめは集団の問題です。子どもが属する学級集団は「ルール」（安心して集団生活を送る下地となる社会的取り決め）と「リレーション」（安心して本音を言い合う下地となる人間関係）のバランスが取れていることが望ましいのです。そして、いじめに向かわせないためには、子どもたち一人一人の自尊感情を高め承認欲求を満たし、思いやりの心を育てることが大切です。

児童虐待の種別は、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待と分かれていますが、重複していることが多いです。子どもの症状を注意深く見守ることが必要になり、そこから家庭の課題も見えてきます。親はしつけとすることが多いで

すが、しつけと虐待は全く違うものです。令和元年6月成立の「児童福祉法等改正法」において体罰禁止が法定化され、令和2年4月から施行されています。体罰等によらない子育てを広げ支援する取り組みも始まっています。奈良市では、子育て相談課が「奈良市要保護児童対策地域協議会」（要対協）の調整機関となっており、多機関による情報共有と連携支援を実施できることが要対協の大きな役割です。虐待の要因は特別なことではなく、どんな人にも起こりうる状況です。そのため良い関係づくりが大切になります。保護者に寄り添い支援し、子どもにもその場を共にすることが貴重な援助となるのです。

ヤングケアラーと呼ばれる子どもは、「健康に生きる権利」「教育を受ける権利」「子どもらしく過ごせる権利」を侵害されている可能性があります。周りの大人が早く気づき、子どもの想いを聴き、福祉サービスなどの適切な支援につなげていく必要があります。

すこやかテレフォンでは、子どものすこやかな成長を願って、子どもたちにも親たちにも、寄り添えるように耳を傾けていきたいと思いました。（Y・K）

友の会 秋の研修交流会 「平城宮跡歴史公園探訪」

11月4日、木曜日。コロナ禍で延期となっていた企画が秋の研修交流会として実現した。

マスク姿で集まった会員は総勢20名。久しぶりの出会いに「ああ、懐かしい！」と手を取り合う方、「あの方どなただったかしら？」と遠慮がちに声



を掛け合う方々。全員揃ったところでまず自己紹介、また近況報告など1期生から現役の方まで、さすが志を一にして同じ釜の飯を食った仲間、たちまち和気あいあい。爽やかな秋風の中、新たに整備された公園を散策。そして見晴館で屋上から奈良市内を展望。シアターで【阿倍仲麻呂遣唐使派遣】の物語を視聴。その後は待望のランチ。旧交を温め、NIDで過ごした時間は貴重で大切なものであったと再認識。お互い寄る年波の不安を抱えながら再会を期してそれぞれ資料館見学や物産店での買い物を楽しみ散会となった。

（T・M）

第17回チャリティバザー開催

11月21日、秋晴れの下恒例のチャリティバザーが行われました。昨年に引き続きコロナ禍での縮小開催でしたが、前日に収穫された大和真菜や大根、白菜、水菜、ほうれん草などの新鮮野菜がたくさん並び、その他手作り品や日用品、雑貨などもあって、毎年楽しみにしてくださっているご近所の方々が大勢来てくださいました。またお昼にはオカリナ、ギター、大正琴などによるミニコンサートも行われて、心とむひとときを過ごしました。今回のバザーの収益は63,942円で、また10,000円のご寄付を頂戴しましたので、合わせて73,942円になりました。このお金は奈良いのちの電話の活動等に有意義に使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。(M)



第19回チャリティゴルフ

第19回チャリティゴルフ大会（高の原ゴルフセンター共催）が、11月22日、51名が参加して飛鳥カントリー倶楽部で開催されました。参加者の方から145,930円のご寄附をいただきました。なお、開催に際して次の企業ならびに個人の方から賞品などを提供していただきました。（順不同敬称略）
共同精版印刷(株)、近鉄グループホールディング(株)、奈良交通グループ、小山(株)、アイリスソーコー(株)、(株)ダンロップスポーツマーケティング、ベンソン京都、三和商事(株)、SCREEN、フジフィルム(株)、(株)モトヤ、コカ・コーラウエストベンディング(株)、関西キリンビバレッジサービス(株)、(株)千乃恵、飛鳥カントリー倶楽部、高の原ゴルフセンター
ご協力ありがとうございました。(K・M)



随想 相談の現場から 気がつけばひとり

M・N

そろそろ深夜に差し掛かるころ、「女房は子どもを連れて出て行つた。今まで一生懸命生きてきたのに、気がつけばひとり」と男性の声。その声のものの悲しさに返す言葉も無かった。

「一生懸命生きてこられたんですね」「そうや、若い時から仕事頑張ってきた。今、五十六歳やけど、「コロナで業績不振やから切られた。この年からハローワークに行ってもなかなか難しい。家にいる時間が増えて、嫁さんとも衝突が増えた。娘も仕事してるけど、嫁さんについていった。何の為に生きているのか。今まで、家族の為に頑張ってきたのに」この男性の悔しさ、ぶつける所の無い憤りが強く伝わってきた。「家族の為に頑張ってきたのですね」

それから、大恋愛をして結婚したと、一人娘をどんなに可愛がったか等をお話された。社会の流れに抗うことが出来なかった気持ちを滲ませながら一時間ほど話されて「何もきかないで聴いてくれてありがとう。仕事は見つかりましたかとか、お食事はどうされていますかとか、よくきかれる。何もきかないで、僕の言うことを聴いてほしいと思っていた。全部聴いてもらえて良かった。まだ、仕事も大丈夫ですよ。娘とも会えない訳じゃないので。先ず仕事を探します」

「はい、あなたが元気であることが大事です」

どうかこの荒波を乗り越えられるようにと願いながら、そっと受話器をおいた。

相談の中で感じたことを紹介したもので、実際の相談内容とは異なります。



ご支援

ありがとうございました



2021年9月1日～2021年11月30日（敬称略・あいいうえお順）

上記の期間に次の方々からご支援を賜りました。感謝をもってご報告させていただきます。

年会費

(一社)アーキテクトン奈良

赤帽柳急便

浅田 隆

荒川 法子

井岡 正徳

生野 智子

池田 由美江

池田 誠也

生駒ライオンズクラブ

石井 利和

石川 幸夫

石田 美知子

(有)井上企画・幅

今中 和子

今村 雅昭

上田 壽子

上野 静子

牛田 斐子

梅崎 アヤ

大内 敬弘

大浦 和子

大森 初美

奥田 和男

奥田 純一郎

奥西 正博

(株)尾田組

小野 美知江

小野 恵光

(医)学芸会倉病院

寛 ゆり子

勝美 緑

金田 史子

(有)川上村社会福祉協議会

川島 美鈴

喜多 直記

北神 希三余

木村 正子

近鉄ビルサービス(株)

(宗)九品寺

熊本 邦憲

(有)組画

(医)鴻池会

国際ソロプチミスト奈良

小島 友子

小城 利重

小山 新造

小山 弘

坂上 日出夫

桜井地区医師会

三和建設(株)

養護盲老人ホーム慈母園

清水 幹夫

白川 正彰

関野 昌子

徂徠 おさむ

高幣 幸生

竹川 直文

田中 瑩子

田中 惟允

田中 兼子

田中 典子

田野瀬 久子

吉野町役場

辻井 昭雄

(有)東大寺学園

徳融寺

富田 和之

中川 克己

中川 淳子

永田 久武

中野 洋

中村 信清

奈良県護国神社

奈良県中学校校長会

奈良県立橿原高等学校

奈良県立奈良高等学校

奈良県立奈良情報商業高等学校

奈良県立平城高等学校

奈良こころの相談室

奈良大学附属高等学校

西光院

日本エコロジック(株)

萩原 良子

林 秀彦

林 昌弘

原田 正子

藤田 優

(宗)寶山寺

法隆寺

堀 直子

松久保 秀胤

松本 篤子

松本 陽一

(社)松本快生会西奈良中央病院

三浦 良邦

三上 明子

三岡 伸禎

宮代 トシ子

宮代 豊

森 美佐子

森 建五

森下 泰行

森田 美和子

矢追 千寿子

安田 咲鳳

柳 美咲子

吉田歯科医院

渡場 昇

特別寄付

あいあいさろん

上原 夏子

川上 範夫

坂上 日出夫

階戸 益代

チャリティゴルフ

匿名

鳥取 桂子

中尾 和人

平石 佳印

松井 利佳



天理大学

自分を超越して、
未来を拓く

人間学部 文学部 国際学部 体育学部 大学院

天理大学

検索

NARA CENTRAL
LIONS CLUB
LIONS INTERNATIONAL

奈良セントラルライオンズクラブ 45周年

We Serve! 「私たちは奉仕します」



〒630-8346 奈良市阿字万字町19

TEL: 0742-26-1250/FAX: 0742-26-0844

早朝清掃奉仕(年2回)於: 奈良公園

人間ドック・脳ドック・企業健診・特定健康診査

《救急・労災指定》

(公財)日本医療機能評価機構 認定病院

社会医療法人 松本快生会

西奈良中央病院

心の医療をもって 地域住民に貢献する

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-15

☎ 0742-43-3333 (代表)

<https://www.nishinarachuo.or.jp/>

このたびは広告協賛へのご協力ありがとうございました。

この広報誌は年4回発行をしております。

協賛広告掲載をご希望の会員様は事務局までご連絡ください。

奈良いのちの電話協会

TEL 0742-35-0500

私たちも奈良いのちの電話を支援しています

スマホで楽しむ近鉄沿線ハイキング!

あるくみるまなぶ

近鉄 あみま倶楽部アプリ

ハイキングコース上のチェックポイントを巡ってデジタルスタンプを集めよう

デジタルスタンプ (イメージ)

詳しくはHPで!

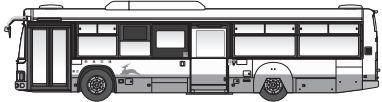
スタンプ台紙で楽しむハイキングも!

近鉄 あみま倶楽部スタンプラリー




奈良交通バス位置情報は

奈良バスナビwebで!!



外出先でもスマホからバス位置情報がわかる!
時刻・運賃検索ができる!

<https://navi.narakotsu.co.jp/>

奈良バスナビweb 検索



西国第六番札所 眼病封じの寺

壺阪寺

〒635-0102
奈良県高市郡高取町壺阪3
TEL 0744-52-2016
FAX 0744-52-3835



お里沢市の霊蹟

未来に種をまこう

JAならけん

経営管理委員会会長 中出 篤伸
代表理事 理事長 村本 佳宜

〒630-8131 奈良市大森町 57 番地の3
TEL : (0742) -27-4013 FAX : (0742) -20-0080
<https://www.ja-naraken.or.jp/> JAならけん 検索



LEGACY
OUTBACK
それは、よりよく生きるための選択。



奈良スバル自動車株式会社 定休日：毎週火曜日・水曜日
(但し3月30日は営業します)

橿原店 橿原市曲川町 6-19-17 0744-22-1331	大和郡山店 大和郡山市横田町 88-1 0743-56-8282
奈良店 奈良市四条大路 1-4-56 0742-33-6451	香芝店 香芝市高 148-2 0745-78-1001
生駒店 生駒市小町 2103-1 0743-70-8555	大和郡山店 吉野郡大淀町松垣 686-7 0747-52-3644

生駒聖天

大本山 生駒山 **寶山寺**

〒630-0266
奈良県生駒市門前町1-1
TEL.(0743)73-2006
FAX.(0743)74-0070



この街が好き

まごころこめて家づくり・街づくり

三和住宅株式会社
住まいのことならおまかせください。

新築一戸建
中古一戸建
中古マンション・土地
賃貸マンション
テナント
注文住宅
リフォーム

三和住宅株式会社イメージキャラクター
花ちゃんファミリー

〒631-0821
奈良市西大寺町2丁目1番63号
サンワシティ西大寺5F

0120-554-028 三和住宅 検索

帝塚山大学

こころのケアセンター

「心の時代」といわれる現代社会。
こころの問題に関する相談をお受けしています。

- ・自分の性格や生き方を見つめ直したい
- ・家族のこと、夫婦関係、子育てについて
- ・自閉スペクトラム症、ADHDなどの発達の問題
- ・不安、うつ状態、不眠、摂食障害など

帝塚山大学
TEZUKAYAMA UNIVERSITY

帝塚山大学こころのケアセンター TEL: 0742-41-4937

学校法人帝塚山学園




インフォメーション

相談電話

24時間ホットライン「いのちの電話」(0742) 35-1000 24時間受付

いのちの電話

ナビダイヤル 自殺予防いのちの電話

0570-783-556
毎日 10:00~22:00

自死遺族等支援「よりそいの会あかり」

(0742)35-7200
火 10:00~16:00

フリーダイヤル 自殺予防いのちの電話

0120-783-556
毎月10日 8:00~11日 8:00

健康
子育て
全県
育成
成年

奈良すこやかテレフォン

(0742)35-1002
月~金 18:00~21:00 土・日・祝 10:00~16:00



いのちの電話インターネット相談 * 日本いのちの電話連盟の仲間と受けています。
<https://www.inochinodenwa.org>



広報誌のバックナンバーはこちらからご覧になれます。
http://www.nara-inochi.jp/m3_4.html

あゆみ

9月

10月

11月

日 内容

- 4~5 第45回日本自殺予防学会 オンライン開催
- 9 すこやかテレフォン自主研修会
- 11 運営委員会
養成講座 2
- 16 ブラッシュアップ研修 1
- 18 養成講座 3~5
- 19 相談員 9年任用研修
- 25 養成講座 6
自死遺族支援 4センター委員会
- 26 自死遺族のつどい「よりそいの会あかり」
インターン座談会 (中止)
- 29 第49回友の会シネマサロン



日 内容

- 1 広報誌秋号第386号発行
- 2 養成講座 7
- 3 すこやかテレフォン研修会
- 7 友の会監査
- 8 広報委員会
- 9 運営委員会
養成講座 8
- 12 養成委員会 (臨時)
- 14 ブラッシュアップ研修 1
研修委員会 (オンライン会議)
- 16 養成講座 9
イオン幸せの黄色いシートキャンペーン贈呈品受け取り
- 19 奈良県福祉指導部監査
- 23 養成講座 10
- 24 相談員委員会
第44期インターン研修会
- 25 友の会役員会
相談サポーター研修会
- 26 理事会
- 28 自死遺族検討会・シェアリング
- 30 養成講座 11
- 31 自殺予防フリーダイヤル事前研修会
関西遺族会ネットワーク研修会 (大阪市)

日 内容

- 4 友の会 秋の研修交流会
- 6 養成講座 12
- 6~7 日本電話相談学会第43回大会
- 11 すこやかテレフォン視察研修会
ブラッシュアップ研修 1
- 13 運営委員会
養成講座 13
- 20 養成講座 14
- 21 第17回チャリティバザー
- 22 第19回チャリティゴルフ大会
- 22 相談サポーター研修会
- 23 相談員 3年任用研修
- 25 評議員会
- 27 養成講座 15
- 28 自死遺族のつどい「よりそいの会あかり」
相談員委員会
第44期インターン研修会

おしらせ

第46期電話相談員養成講座受講生募集

開講期日 (前期)2022年 4月30日~8月6日
(後期)2022年 9月3日~11月3日
毎週土曜日 14:00~16:30

受講料 前・後期各 25,000円 (実習実費は別途)

開催場所 NID会館 (奈良市西大寺本町8-27)

詳しくは「奈良いのちの電話」ホームページをご覧ください。

ご案内

第51回 友の会シネマサロン

「四十九日のレシピ」

監督 タナダ ユキ 出演 永作 博美

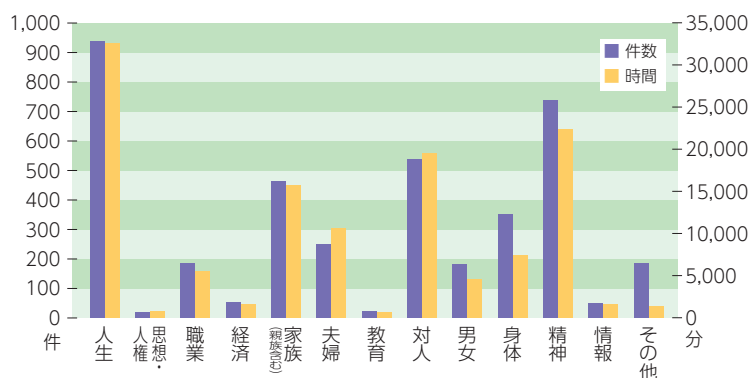
日時 令和4年3月30日(水) 13:30~

会場 NID会館3F

参加費 500円 (茶菓子代含む)

記録

奈良 35局1000番の受信状況 2021年8月~2021年10月



8月~10月 受信総件数 4,776件

8月~10月 相談件数 3,986件

8月~10月 相談時間 2,083時間59分

54年11月1日~R3年10月31日

受信累計 1,265,941件

表紙写真について

<水野佳珠 (みずの かず) 氏による作品紹介>

「出雲」の地名に島根を思い浮かべる方が多いと思いますが、大和にも出雲の地名があります。

今から2000年前に島根と大和の出雲を行き来していた野見宿禰。その子孫たちが長谷寺参りの「おみやげ」として「大和出雲人形」を作っていました。一時は廃れていましたが、水野徳造が復元し、農閑期の手仕事として現在に至っています。古い型に残る素朴な表情を大切に、癒やしのある人形作りを心がけています。

現在、左前人形、三番叟、俵牛、カ士など40種類くらいの制作をしています。表紙写真は「大和出雲人形・三番そう」です。

御祝いの始まりに欠かせない、大和の出雲人形「三番そう」。日本古来の伝統芸能の演目でユーモラスな舞です。足踏み、手振り、面白い、素朴な素焼きの土人形です。

編集後記

新しい年が始まりました。足掛け3年にわたるコロナ禍ですが、予防接種や治療薬の開発も進み、ようやく不安と息苦しい生活にも変化の兆しを感じられるようになりました。表紙の出雲人形のように晴れ晴れと、軽やかにステップを踏んで過ごすことのできる一年になりますように。

さて特集では、長年精神障がい者の支援に携わってこられた中舎さんにお話を伺いました。多くの関係者の方々と共に障がいをもつ人たちに寄り添ってこられたお話は胸に沁みました。私たちも電話線の先の声に耳を傾け、一層寄り添っていききたいものです。本年もよろしく願いいたします。(T・U)

発行 令和4年1月1日
創刊 昭和54年10月20日

発行人 森岡正宏
編集 協会広報委員会
印刷 共同精版印刷(株)